

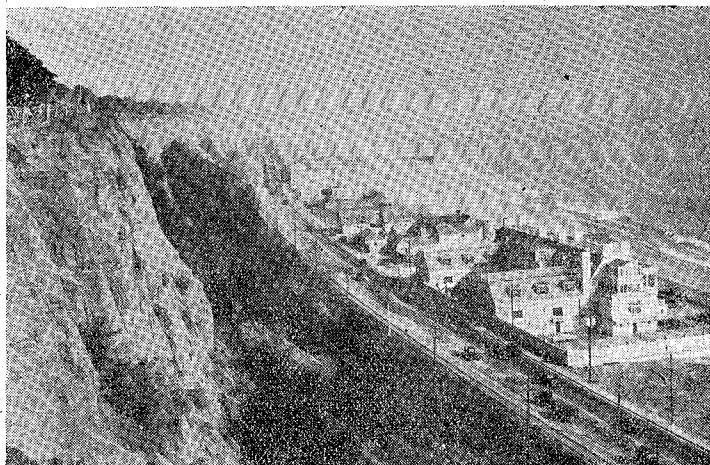
# 米國の視察を終つて

地方技師 榊 井 照 藏

シカゴを夕方出發し翌朝カンサス市を過ぎ西海岸に出る迄約二日間、汽車は全然荒野の中を走り時には沙漠もあり暑さは甚だしく案外アメリカも良い土地は少い様に感ぜられたが、愈々山を越して西海岸に出ると景色は全く一變し野も山も青々と見るからに快よく、沿線は行けどもく、オレンゴ、林檎、葡萄等の見事な果樹園が續き、成る程カリフ

オルニヤは良い所だとうなづかれた。近來では果物の外に日本人の御蔭で米も澤山出来る様になり、加州米と稱してハワイに居る日本人の大部分は、之を消費して居るさうである。元來、アメリカの農業は日本人に負ふ所が非常に大きく且つ何處を見ても土地は廣くまだく開拓の餘地が十分にある。それなのに、排日などと騒ぐのは誠に狭量な怪

しからん話だと思ふ。



路道岸海の近附スルセンアスロ

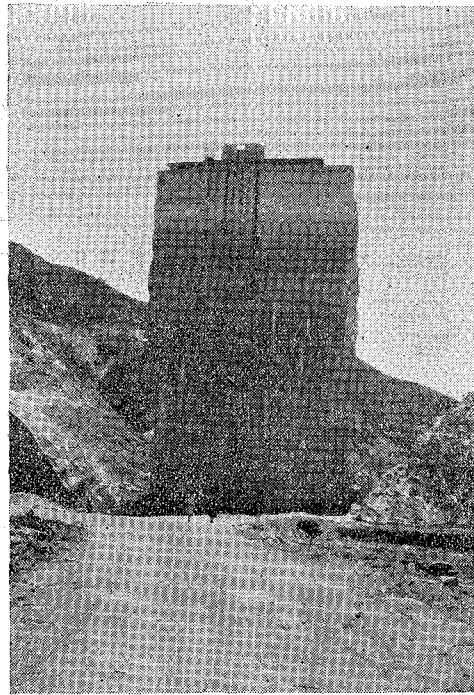
ト舗装と自動車の發達は實に目覺ましいもので、自動車の數は此頃では人口二人強に對し一臺の割合ださうだ。ロスアンゼルス附近の如きは坦々たる幅廣き道路を恰かも蟻の行列の如くに陸續として自動車が行つて居るのは實に偉觀である。

天産の豊富なるのと氣候の良好なる爲めにロスアンゼルス附近に集り來る者が年々増加し一九一三年頃迄は人口僅かに五十萬であつたものが、現今では隣接町村の合併に依り百萬を突破して居る。町の模様は建築等も大したものもなく新開地氣分を覺へるが、非常に活氣に富んで居る。丁度自分の着いた日は新市廳の落成式當日であつたので、夜間は市民の祝賀行列があつて非常に賑かだつた。

此地方は雨が少ない爲めに水道は随分早くより造られて居つたのであるが、ロスアンゼルスでは人口が増加したために附近にある在來の水源からの給水だけでは不足となつた。それで種々研究の結果、早くも一九〇八年には將來の發展を見越して、大擴張工事に着手するに至つた。

カリフォルニヤは石油の産地であるだけに、アスファル

此水源は市を去る事東北方二百五十哩餘のある西部を縦走せるシラネバタ山脈中のオーエン峽谷であつて、恐らくは是程長い送水線路は他に類の無いものであらうが、良く思ひ切つて造つたものである。市は二千三百萬弗の豫算と五年の工事期間で着手し、大體豫定通りに竣工せしめた水量は四百個であるが途中には配水に必要な以上に落差があるので、之を利用して發電する事とし四個所に發電所を設置したが、尙ほ水源には自然の河川を利用した發電所をも設け合計最大二十萬馬力を出し、ロスアンゼルス市内へ一般に供給して居る。前に一寸述べたサフランシスコ堰堤は市を去る事四十哩

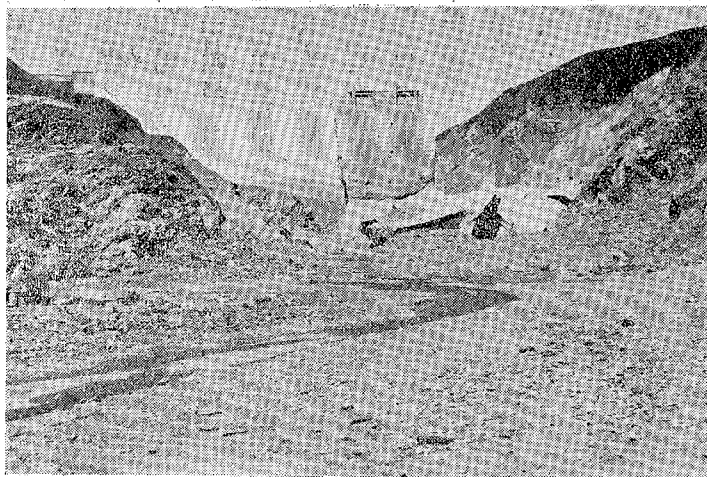


上流より見たるサフランシスコ堰堤の殘部

ロンの水を抱へて居たのであるが三月の中央に突然崩壊した。而して此大量の水が一時にサンタクラ川を流下したのだから、其の慘害甚だしく四百餘の溺死者と三千萬弗と推算する、財産の損失を生ぜしめた。

當時は其の原因に付き種々の揣摩憶測が行はれたもので或新聞記事の如きは、堰堤附近で爆彈の殻を見せられたから、之は必ず何者か故意に破壊したのだなどと誠にやかに述べて居つた。だが、私はそんな馬鹿げた事ではなく

確かに技術上の缺點に依るものであると信じて居つたので



下流より見たるラフンシヨス堰堤

あつたが、果して數日後になつてから、一般に之を認むる

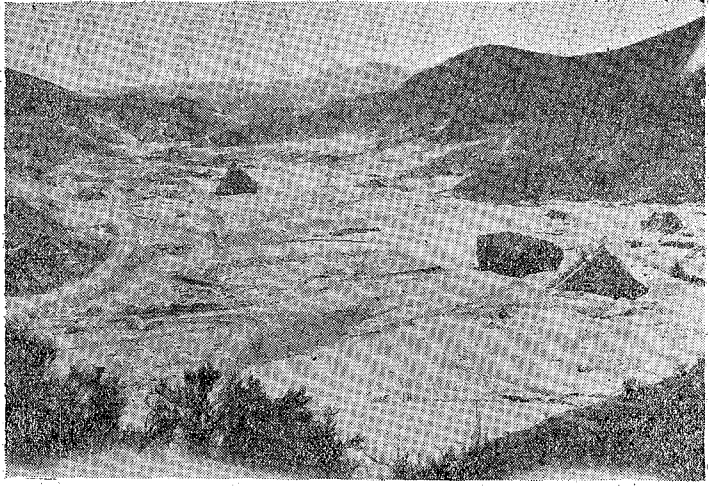
に至つた。

丁度今回ロスアンゼルスを通るやうになつたので、之丈  
けは是非視察して行き度いものだと思つて、市役所へ行つ  
て頼んだ所が丁度翌日電氣の技師が出張する事になつて居  
つたので、其の自動車に便乗し精細に見る事を得たのは非  
常に仕合せであつた。

現場は想像以上の慘狀を呈して居りサンタクラ川の沿岸  
は丁度我が國の大震災の時の根府川の慘狀と同じであつて  
百數十尺もあらうと思はるゝ奔流の水面以下は山も畑もき  
れいに洗ひ流れて岩盤露出し屈曲部は流砂沈澱して根こき  
にされた樹木の半分埋れて横はれる等目も當てられぬ有様  
であつた。

堰堤は左右兩側決潰して居り、二百尺以上もある中央最  
高部の約百尺程の幅の部分丈けが、宛かも石碑の様に兀然  
として聳えて居る。水の力の偉大なる事は實に想像も及ば  
ぬ程で、壞れたるコンクリート塊の二、三百立坪もあらうか  
と思はるゝ山の如きものを一哩近くの下流迄押し流して居

る。



洪水の後、サマタラ川の堰破塊の流る居るを示す

破壊の原因は現場を一周すれば明かであるが、要するに

通信

根入りの足らなかつた爲めである。残存せる部分の断面は良くそれを物語つて居る。基礎は岩盤に達しては居るが、此岩盤は變質岩の風化せるもので之を充分に掘り取らないで、コンクリートを置いた爲め先づ右岸の最弱點部に漏水を生じ、次第に増大して遂にエキスパシヨン、ジョイント間の部分脱け出し、一時に押し出せる水は堰堤一帯の下流根元を洗つたのであるが中央最高部は比較的注意して施工し根入も相當にあつた爲めに之を侵す能はざる内に左岸の傾斜層上に淺く置かれたる部分を同じくエキスパシヨンジョイントより引き離し脱け出さしめ、斯くする内に水勢減じ、遂に中央部は残存せるものと思はる。故に若しエキスパシヨン、ジョイントが無かつたら、或は助かるか又は全部崩壊された事と思ふ、斯うなるとジョイントも考へ物である。

要するに原因は工事の粗漏に歸するものであつて、技術者に取りては最も注意すべき事と思ふ。此災害は非常な犠牲を拂つた。だから、兎角ぞんざいなアメリカの土木工事

に在りては非常に良い教訓である。將來は大に注意するであらうが、現存のものには未だ斯かる例を生じないとは限らない。現に自分がアメリカを出發した日の新聞には矢張り他の水電工事の堰

恨憤怒其の極に達して居るので、市では非常な賠償金を支出するさうである。

堤が危険に瀕し大騒ぎを演じて居る事を報じて居た。

然し此處の災害で不幸中の幸とも云ふべきは此貯水池は直接水路に結び付けられて居なかつた爲めに送水は中止する必



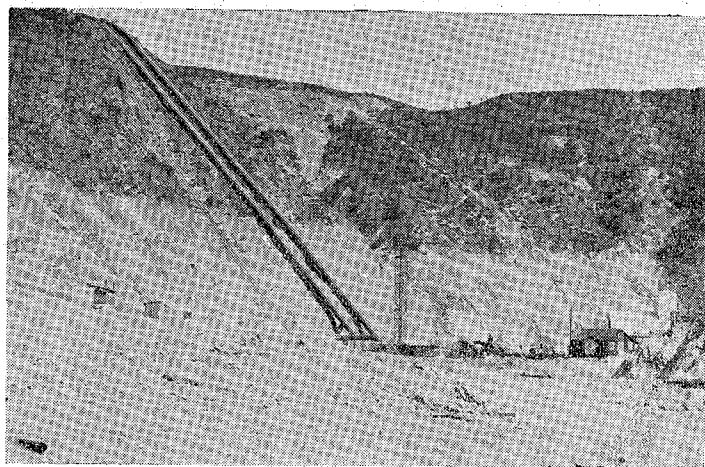
堤堰コスシラフンサるゼ壊崩

要を生じなかつたので、ロスアンゼルス水を水飢饉より免れしめたが下流にある第三發電所は流失し自分の行つた時は既に之が復舊工事を始めて居た。元來此地方人は最初から堰堤築造には反對して居つたさうであるが、災害起るや怨

は記憶し易く便利である。又アメリカの汽車は總て等級は無いが、寢臺車は勿論展望車、談話客車等特種のものに入るには相當の料金を拂はねばならぬのであつて、つまり之で等級を付ける様なものである。だが、此デイルイト列車

と海岸の兩方の汽車があるが、自分は最短時間で達せらるゝ、海岸のデイルイトと稱する汽車に乗つた。アメリカでは列車の長距離を走るものには皆夫々名前を付けて區別して居るが、之は日本の如く單に何號列車と云ふより

丈けは全然無差別で立派な食堂車あり喫煙室、談話室、展



所電發るたれらめ埋に水洪

約五百哩の間途中たつた一回、然も乗降の爲めでなく炭水等の補給の爲め少時間停車するのみである。従つて直通客の外は乗車せしめない思ひ切つた列車だ。

途中、過半はカリフォルニアの西海岸に沿ふて走るので一寸景色が良いが、それよりも目に附くのは矢張り果樹園と、所々、海中に棧橋を架け出して、海底より石油を採取して居る光景である。丁度十二時間でサンフランシスコに着いた。

サンフランシスコは思つたより綺麗なものと地勢に高底があるのが特に眼に付いた。尤もこれは半島であるからでもあらう。建築は所々に低いものが有つて、かの震災を思ひ起さしめるが、新しいものには相當高く立派なものがある。つて其の復舊の速かなるに感心させられた。主要通りのマーケット、ストリートは幅こそ多少廣いが、私營と市營の兩電車を通過させ四線を敷設して居るので、交通に非常に不便を感じた。こんなのは他では未だ見た事のない例である。然し市街電車は汎く敷設せられ急坂を盛んに昇降して居る

望車等も無料で勝手に使用出来るし、サンフランシスコ迄

此急坂の路面は皆セメントコンクリートで舗装して居るが自動車操縦に差支へ無く、之迄の迂りはしないかと云ふ疑念は一掃された。

歐洲でも米國でも大抵の市街にはチャイナタウンと稱し支那人の一區劃がある程支那人は商賈は上手である、之等の支那町の中でもサンフランシスコ程綺麗なのは見た事が無く之迄は皆不潔なもの許りであつたので珍らしく思つて居たが、此綺麗な商店の大部分は日本人の店であつた。丁度五月七日は自分達はうつかりして居つたが、所謂支那の國辱記念日なのださうで、夕方此支那町を通り掛つたら大變賑かな行列が来るので立留つて見ると之は在留の支那人小學生を狩り出して國辱記念日のデモストレーションをやつて居るのであつた。先頭には米國と支那南方政府の旗とを押してアメリカ式の樂隊に續いて色々な文句を書いた旗を立て、町を練り歩いて居た。目下の支那の時局に鑑み何だかアメリカである丈けに、増長して居る様に思はれ面憎く思つた。

サンフランシスコの港湾設備は總て州の手でやつて居り技師長の案内で見せて貰つたが天然の地形は實に良港湾をなして居り設備も順次増加せられ現に棧橋の工事中で將來擴張の餘地充分にあるのは羨望に耐へぬ。

サンフランシスコの水道は在來はスプリングバレー水道會社に依り營利的に供給せられて居つた。之は市の附近の谷間の貯水池及び湧水を水源として居るものであるが、市の發展は到底之のみにては不足するに至つたので、遂に自ら給水事業を行ふ事とし、種々調査の結果、市を東に去る事百五十六哩のシラネバタ山脈中のヨセミテ溪谷を水源とし、此處に一大貯水池を造る所謂ヘッチヘッチイ水道を一九〇八年に起工し、引續き工事中で將に竣工せんとして居る。つまりロスアンゼルス水道の水源と背中合せの水源より水を得るもので、何れも劣らぬ長い送水線路である。水量は毎日四億ガロンを引き得て人口四百萬人迄は給水し得ると稱して居るが、此水道でも途中の餘分の落差を用し二十萬馬力の水力電氣を發生せしめ、市の一般需要を充す



事とし、已に竣工し年々二百萬弗の收入を得て居る。此計畫で面白い事は全部の工事費豫算を一度に要求せず土地貯水池水路、發電所工事等の部分々々の豫算を示して其着手の可否を一般市民の投票に依り決する事である、已に斯くして募集せられたる市債額は七千九百六十萬弗に達し更に本年の殘部の工事費及び前記スプリングバレー水道會社の事業を買収する豫算を提出するさうである。

水道を調査し度いと思つて、市役所を訪ねたが、其の建築は實に立派なもので大きさに於てはニューヨークに劣るかも知れぬが、前庭あつて、堂々たる事は恐らくアメリカ第二であらう。私は寧ろワシントンの國會議事堂よりも良いと思つた。市では前述の如く豫算を投票に依り決する爲め廣く其の内容を市民に知らすの必要ある爲め市役所の正面に立派な水源地より市に至る迄の模型を作り活動寫眞により工事の模様を示す設備がしてあつて、係りの技師より之に就き一々詳細に説明して貰つたので、實地を見るの必要なく寧ろそれ以上に良く了解する事を得て時日を持たぬ

自分に取つては非常に有難かつた。

あわたましい米國の視察旅行は之で終り五月九日サンフランシスコ發の天洋丸で歸朝の途に就いたが、愈々船に乗り込んだ時に初めてホツとした。言葉の不自由が無い許りでなく、全然日本の資本で日本人の手に依り航海せられ當港では重きをなして居る事は一種の誇りを感じずには居られないからである。

海上は至極平穩で一週間後にはハワイのホノルルに入港し半日の碇泊時間を利用し附近を見物したが、ハワイは兼て話に聞いて居た通り氣候の良い眞に常夏の國で日本人は想像以上に多く何處へ行つても見受けられ所々の揭示の如きも英語と日本語で書いてあり、日本の領地の様な氣がしたが、ホノルル附近のハワイ唯一の製糖工場を視察してがっかりした。それは其の工場の従業員は殆んど日本人であるが經營者は米人である爲め、折角日本人の手で立派な砂糖が見て居る内に甘藷からどん／＼出來乍ら其の利益の大部分は米人の手に歸するかと思ふと甚だ残念であつた。之

が反對だと良いのだが。

道路は日本と異り殆んど全部鋪裝せられて居つて田舎はアスファルトの簡易鋪裝もあるが、新しいものは皆セメントコンクリートの様である。

望月と云ふ日本料理屋で約一年振りて初めて疊の上に坐つて晝食を濟ませた後出帆した。

歐米各國を廻りて最も痛切に感ぜらるゝ事は何よりも他に類の無い萬世一系の皇室を戴ける實に立派なる我が國體と光輝ある三千年の歴史とで之許りは如何なる富國と雖も眞似する事の出来ぬものであるから、我々はあく迄も之を維持せねばならぬ。然るに近來時々新聞で見ると依れば此貴ぶべき點を忘れ徒に西洋思想にかぶれて居るものゝあるのは誠に遺憾に耐へぬ次第である。各國共に夫々誇りを有し他の點に於ては殘念乍ら我が國は未だ及ばぬからせめても此唯一の誇りは失ひ度くないものである。

物質文明に於ては未だ諸外國に劣るとは雖も鎖國主義を破りて僅か六十年としては實に良く進歩したもので、此努

力を以て進めば諸外國の域に達するものも遠くはあるまいから不良なる思想の爲めに誤らるゝ事なく舉國一致努めねばならぬ。

米國を旅行して其の天産の豊かにして國の富めるのを見る時は如何にも羨望に耐へぬけれど、翻つて獨逸を見る時は決して悲觀するに及ばぬと思ふ。獨逸は石炭こそ出るけれど共其他には何等目ほしい天産は無いにも拘らず、國民の勤勉と努力は遂に良く今日の繁盛を來して居る。

我が國は獨逸に比すれば遙かに天産に恵まれたる國であるから、所謂島國根性を棄てゝ眼を大にし努むべきである。如何に天産多き米國と雖も國民勤勉ならざれば良く今日の富を築き上げる事は出来ぬ次第で、此點に對する米國人の自覺は實にえらいもので、例へば彼の禁酒令施行の如き或は日光節約時間設定の如きは色々批評する人はあるけれども、どれだけ生産能率を増加して居るか分らぬと思ふ。之等の點から見れば、實に悔る事の出来ぬ恐ろしい國である。

又外國を旅行して居ると忙がしい間にも絶へず氣に掛かるのは故國の事であつて面白からぬ通信例へば議會の解散であるとか、共產黨事件であるとか、勞働爭議の事などに接する時は非常に暗い氣持ちになり、日本は一體どうなる

であらうと云ふ心配は念頭を去らない。自分の様な短期間の旅行者ですらさうであるから、まして故國を踏み出して海外に奮闘せる人々に取りてはどんなに強く響く事であらう。若し日本に拙い事があれば直接に周圍より侮辱と壓迫

を加へらるゝのであるから、之等は内地に居る人々の大に考へ同情せねばならぬ事であつて、眞に海外に發展せんとするには先づ國內を治めて、後顧の患の無い様にせねばならぬ。

大變つまらぬ事を書き立てたが、以上は今回の出張に際し感じた所であるから、諒とせられん事を祈ると同時に通信も之を以て終りとする。

(終)